

青少年公園地区愛知県パビリオン

(テーマ展開)

環業革命への力 [ECO-INDUSTRIAL REVOLUTION]

愛知県は東西交通の要衝であることを背景に、技術を育み、技能を磨き、世界でもトップクラスの製造業を発展させてきました。愛知県が日本経済の機関車役を果たしてきたことは、誰もが認めるところです。この連綿と続く愛知のモノづくりには、多くの先人たちの英知と情熱があります。

県パビリオンでは、その強力な産業力を資源として、持続可能な社会構築のための「環業革命」(環境による産業革命)をいかに進めるべきかの大胆な提案を行います。

その新しい産業の構築にあたっては、ハイテクノロジーを追い求めるだけでなく、愛知ならではの「伝統工芸」や「挑戦者スピリットを抱いた人々」に学ぶことも欠かせません。



1 展開ストーリー

環境に関わる問題を提起し、解決へ向けた様々なメッセージを発信、来るべき未来を予感させる

循環型社会（エコ・コミュニティ）の形成には、わたしたちの過去の産業活動と現状を見つめ直しながら、新しい思想を構築していくことが不可欠です。そこで、来館者には、ひとりひとりの生き方のありようまで立ち入った「問題提起」を行い、その上で、エコ・コミュニティの実現へつなげる夢の創造へと発展させます。

2 展示の展開

環境問題を身近に感じさせるエコ・パノラマ空間

来館者参加型の展示手法により、「あなたも環境問題に荷担している」という事実を、新しい表現手法を用いて具体的に示すことで、21世紀のわたしたちに課せられている課題を体験します。

例えば、来館者個々のデータの入力により、来館者自身がこれまで消費した資源の総量（森林、原油、食材など）を、迫力ある映像とモノによる複合演出で明らかにするなどの演出を検討します。



環境問題の解決（ソリューション）を提示するメッセージ空間 「未来のエコ・コミュニティ」

例えば、愛知県を中心とするこの地域の先端的な技術やノウハウを持つ企業や研究者の協力・参加も仰ぎ、ファンタジーあふれる仕掛けと空間（「未来のエコ・コミュニティ」）をつくることを検討します。

そこは、2005年から想像する50年後のエコ・コミュニティが舞台であり、環境技術と社会の姿を展示・映像・音響などを織り交ぜて紹介し、環境問題の解決（ソリューション）のひとつのモデルを提案します。



愛知の未来技術紹介

パビリオンのエピローグとして、愛知の最先端の未来技術や環境技術を中心に、様々な技術の可能性を愛知の技術の実績とともに紹介します。

愛知の文化・人の交流空間

愛知県をはじめ、県内市町村やNPO、諸団体等の県民が共同で使う催事空間です。愛知県内にある伝統文化・芸能等の行・催事を行います。



3 施設イメージ

施設規模

- ・施設面積 計 約3,000㎡（県パビリオン部分 約2,000㎡（仮設） / 広域交流館（仮称）部分 約1,000㎡（仮設））
- ・展示面積 約1,200㎡～1,500㎡（広域交流館部分は含まず。）

空間構成

県パビリオンは、約2,000㎡規模で展示の展開に沿った3つの空間から構成されます。県パビリオンに中部地区の県などが出展する「広域交流館」（約1,000㎡）が併置される予定です。

設計の考え方

- ・展示テーマにあった建築素材、製品の活用を図ります。
- ・イベント等に活用できる催事空間を設けます。
- ・すべての来館者が利用しやすいパビリオンをめざします。
- ・地球環境負荷の低減を考慮した計画としていきます。
- ・撤去後のリユース、リサイクルを考えた計画としていきます。
- ・県産材を活用していきます。

《青少年公園地区県パビリオン位置図》



《青少年公園地区県パビリオン構成図》

